

(3) 評価

教師側の評価として、以下の3点を中心に実践した。

- ① 座席表へのチェック
チェック項目を精選し、○×やレでチェックできるようにした。
- ② 形成テスト
単元中3回実施し、ノートにてん布。
- ③ 総括的評価
自作テストを実施し、S-P表によってその分析を実施した。下の表がそれである。

<「火事を防ぐ」S-P表>

問題 氏名	S-P表										S-P表	グラフ	トピック
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
37	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
38	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
39	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
44	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
45	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
47	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
49	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
51	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
52	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
53	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
54	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
55	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
56	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
57	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
58	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
59	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
61	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
62	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
63	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
65	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
67	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
68	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
69	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
70	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
71	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
73	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
74	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
75	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
76	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
77	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
78	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
79	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
80	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
81	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
82	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
83	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
84	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
85	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
86	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
87	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
88	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
89	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
91	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
92	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
93	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
94	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
95	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
96	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
97	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
98	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
99	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

この結果から考察して、ねらいはほぼ達成されたと言える。

3 研究の成果と今後の課題

(1) 成果

- ① 児童
 - ア 地域の資料を取り上げたことにより、興味・関心の継続がなされた。
 - イ 観点別到達目標と評価計画に基づいて

地域の資料の選択、資料作りを実践したことにより、生き生きと学習に取り組んだ。

ウ 地域の活動に対し、興味・関心がでてきた。

② 教師

ア 目標分析をすることにより、児童にとらえさせたいことについて観察可能な形で設定でき、評価しやすくなった。

イ 地域の資料を教材化する活動を通して、地域の人々や諸活動に直接触れることができた。

ウ 目標の明確化が図れた。

(2) 課題

- ① 情意面の評価方法
- ② 児童自ら課題が見つけれられる工夫
- ③ 児童の変容の効果的なとらえ方
- ④ 地域の資料の魅力ある教材化の手立て

4 おわりに

実践の概要をまとめてきたが、研究を進めれば進めるほど多くの課題が生まれてくる。

地域の資料を収集するには、基本的には教師自身が足で歩き、直接触れることが大切であると考えている。子どもたちとともに資料を作っていく方法も効果的だが、いずれにしても教師自身がよく知っていることが重要である。

今後も、魅力のある社会科の授業を目指し、模索しながらも実践していきたい。

<参考文献>

関心・態度を育てる社会科の指導と評価 明治図書
 社会科授業のねらいと教材化 明治図書
 社会科到達度評価の理論と研究 明治図書
 指導と評価 60年 No.5
 観点別到達目標分析のしかた 教育センター
 学習態度の形成と自己評価 明治図書
 社会科到達度評価指導事例集 明治図書
 S-P表の活用 明治図書